

出演者プロフィール

高橋 竹仙

津軽三味線



加古川市生まれ。津軽三味線奏者。加古川東高校卒業後、高橋栄山師に入門。竹山流の古典の三味線を継承しながら、和太鼓、ヴァイオリン、コントラバス、ピアノとのコラボレーションなど幅広く活躍中。2015年12月アルバム「妙音三昧」で、世界デビュー。2017年ノーベル「男梅」テレビCMに出演。

高橋 栄山

津軽三味線



青森県青森市生まれ。竹山流津軽三味線家元正目代総任師範。竹山流津軽三味線の第一人者。芸術の祭典、龍樹寺音楽祭など全国各地での演奏活動に加え、後進の指導にもあたる。99年のケープタウン、ヨハネスブルグ公演など、世界へもその活動の場を広げている。音色は竹山流を極め、津軽魂の理想に達しつつある。

初代 須藤 雲栄 ————— 津軽民謡
青森県黒石市生まれ。津軽民謡の大家、成田雷竹に弟子入り、財団法人・日本民謡協会主催の全国大会で「津軽あいや節」を唄い日本一となる。文部大臣賞を受賞。初代 高橋竹山と組んで、全国公演、テレビ、ラジオ、舞台でも活躍する。



二代目 須藤 雲栄 ————— 津軽民謡
青森県青森市生まれ。1993年、神戸民謡大会「謙良節」で優勝。1999年、南アフリカ共和国日本大使館に招かれ、ケープタウンなどで公演。2008年、二代目 須藤雲栄を襲名。津軽民謡の正統派を唄える若手として、全国各地での津軽民謡コンサートに出演している。



高橋 竹春 ————— 津軽手踊り
青森県平内町生まれ。5歳より津軽民謡手踊りを始め、小学校4年生の時に高橋竹山さんに弟子入り。1989年、日本民謡協会全国大会民舞の部で「内閣總理大臣賞」を受賞。2001年、津軽手踊り名人戦優勝。第31回津軽手踊り王座に輝く。



水沢 明美 ————— 演 歌
1975年宮崎県民謡名人位取得。1982年サンケイ民謡大賞で総理大臣賞を受賞。1990年日本クラウンより「恋は女の花舞台」でデビュー。実力派演歌歌手としてCDリリースのほか、音楽番組出演、コンサート、ディナーショーなど幅広く活躍。

長谷川 悟 ————— コントラバス
国内の他、ウィーンを拠点にオーストリア各都市、ドイツ各都市、ブルガリア各都市、ホノルル、台北、マニラ等でソロ・室内楽公演。指揮・作曲・編曲・執筆活動の他、神戸ジュニア合奏団等を総監督を就任。国際コントラバスセミナーin japanを26年間継続して主宰。ドイツやオーストリアの夏期大学マスタークラス員教授として教育活動を続けている。音楽の館コンサート協会会長。音楽の館フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。兵庫県新進芸術家奨励賞、加古川市文化連賞受賞。



高野 巧 ————— 和太鼓
初代鬼太鼓座座長として、欧米はじめ世界各地で高い評価を受け、バーン・シュタイ因や小澤征爾とニューヨークフィルとの共演など、和太鼓の第一人者。篠笛の名手でもあり、音色は一瞬にして聴衆を幽玄の世界に誘うほど。和太鼓や篠笛の独奏は勿論、和太鼓合奏團やさまざまな共演者とのコラボも積極的に試み、各界に大きな影響を与えている。



横田 ちさと ————— ピアノ
愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。ピティナヤングコンペティション G級全国大会入選。飯塚新人音楽コンクール入賞。浜松音楽コンクール奨励賞。M.v.d.フック音楽工房主宰。



ハット・ロビックス ジャパン ————— トランボリン
幼児からシニアさんまで三世代で楽しく安全に健康づくりが出来るミニトランボリンを使ったエクササイズ「トランボ・ロビックス」を普及している。